

○蛭田悠平1)、畑淳子1)
各務竹康2)、早川岳人2)、辻雅善2)、熊谷智広2)、日高友郎2)、福島哲仁2)
1)全国健康保険協会福島支部
2)福島県立医科大学衛生学・予防医学講座

目的

全国健康保険協会（協会けんぽ）福島支部が今後保健事業を行ううえで、優先順位の明確化を行うため、以下の項目を二次医療圏毎に分類した。

1. 1人当たり医療費 2. 健診受診者のリスク保有者割合 3. 健診の問診項目を使った生活習慣傾向

方法

1. 1人当たり医療費

対象者：
平成24年度協会けんぽ福島支部
平均加入者615,834人

検証項目：

- 性（全体・男性・女性）
- 年齢階級
0-9歳、10-19歳、20-29歳、
30-39歳、40-49歳、50-59歳、
60-69歳、70-74歳
- 診療種別
全医療費、入院、入院外、歯科、調剤
- 疾病別
悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、
腎不全、高血圧、糖尿病、
気分障害・ストレス障害、認知症

□ 平成24年度の当支部平均加入者総数を基準として間接法による標準化を行い、地域毎の1人当たりの医療費を比率で表した

2. 健診受診者のリスク保有者割合

対象者：
平成24年度末に35歳以上75歳未満の当支部被保険者と、県内健診機関で受診した他支部被保険者で県内居住者かつ1年間継続して加入した123,343人

検証項目：

- 性（全体・男性・女性）
- 年齢階級
30-39歳、40-49歳、50-59歳、
60-69歳、70-74歳
- リスク
血圧、代謝、脂質、メタボリック、
腹囲、BMI、中性脂肪、HDL

□ 県全体の分析対象者総数で間接法による標準化を行い、地域毎のリスク保有者割合を比率で表した

3. 健診の問診項目を使った生活習慣傾向

対象者：
健診の問診項目に回答した被保険者135,369人

検証項目：

- 性（全体・男性・女性）
- 年齢階級
30-39歳、40-49歳、50-59歳、
60-69歳、70-74歳
- 問診項目
20歳時の体重から10kg以上増、30分以上の運動を週2日以上1年以上実施、1年間で体重の増減±3kg以上、食べる速度、喫煙、就寝前2時間以内の夕食、夕食後の間食（夜食）、朝食の欠食、飲酒頻度

□ 2と同様に分析対象者総数で標準化を行い、地域毎の問診項目の差を比率で表した

なお、全ての統計解析は、SPSSおよびExcelを用いて行った

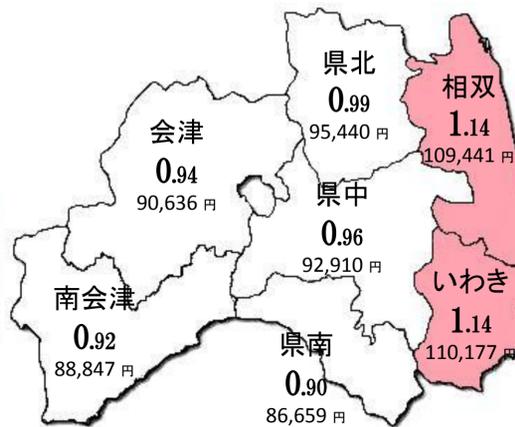
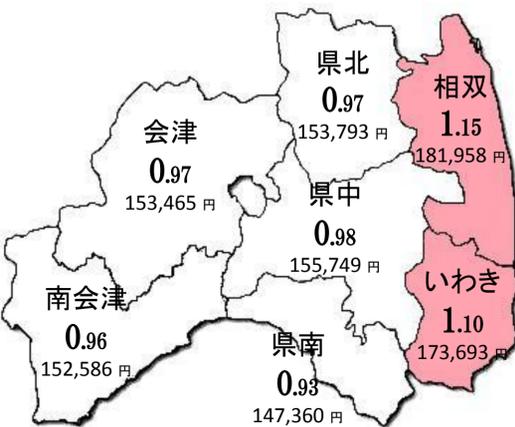
結果

1. 1人当たり医療費

~0.7未満
0.7以上~0.9未満
0.9以上~1.1未満
1.1以上~1.3未満
1.3以上~

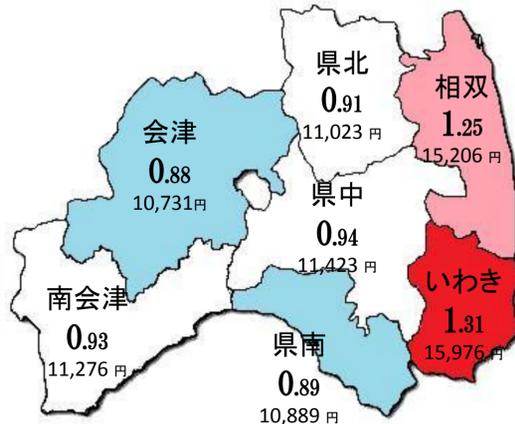
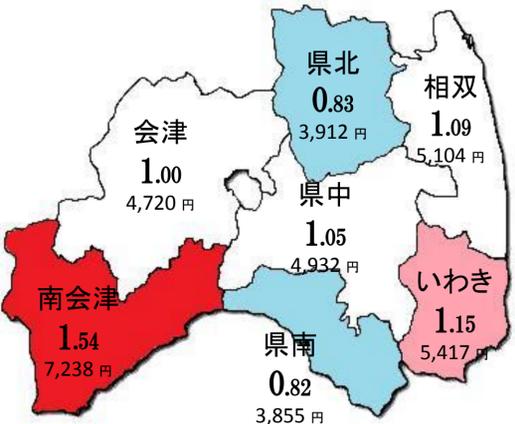
全医療費 全加入者 158,624 円

入院外 全加入者 96,311 円



心疾患 全加入者 4,698 円

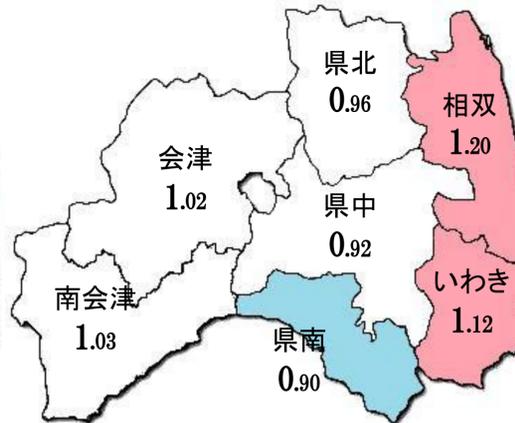
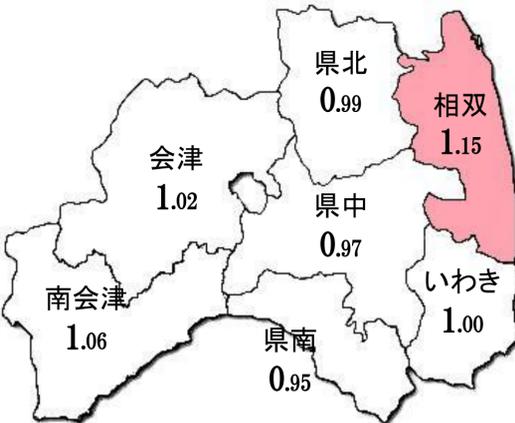
高血圧症 全加入者 12,174 円



2. 健診受診者のリスク保有者割合

血圧リスク 福島県平均 47.0 %

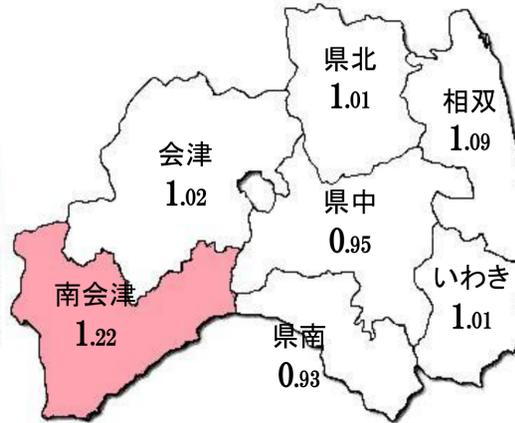
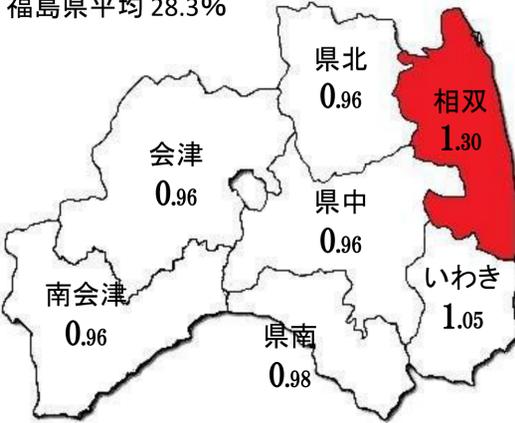
メタボリスク 福島県平均 15.3 %



3. 健診の問診項目を使った生活習慣傾向

1年間で体重の増減±3kg以上
福島県平均 28.3%

毎日の飲酒 福島県平均 32.9%



考察

- 医療費やリスク保有者割合が平均を上回る地域の傾向が明らかになった。
- 原発事故による避難区域周辺や南会津地域では、日常の健康管理や診療状況等の課題は大きい。
- 今後、経年的な比較を行い、更に二次医療圏毎の特徴を把握し、地域の実情に応じた福島支部のデータヘルス計画策定とその実践に活かしていきたい。